

大槌町教育委員会だより



育てよう魅力の花

未来へつなぐ「学び」のバトン ～0から18歳までの学びをつなぐ取組の紹介～

【幼小接続研修会】

大槌学園と吉里吉里学園小学部、町内6つの幼児施設の担当者が集まり、「大槌町スタートプログラム（※）」をもとに、子どもの「育ち」と「学び」と目指す子どもの姿について確認します。

【幼小接続プロジェクト】

大槌学園、吉里吉里学園の1年生の授業と、各園の保育の様子をプロジェクトチームで見合って話し合うことで、質の高い教育と保育の実現と、幼児教育と小学校教育のなめらかなでしっかりとした接続を目指します。



幼小接続プロジェクト（おおつちこども園）



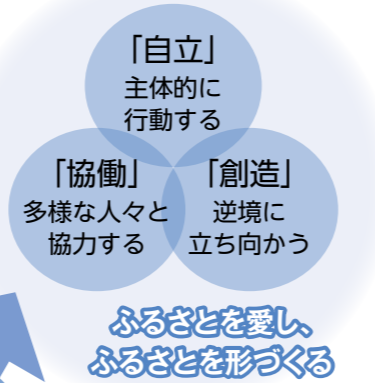
幼小接続プロジェクト（大槌学園1年生）

幼小接続

- みどり幼稚園 ●おおつちこども園
- つつみこども園 ●おさなご幼稚園
- 大ケ口保育園 ●吉里吉里保育園

※町内幼児施設から祥雲支援学校（金石市）などに入学する場合も、スムーズな接続を図ります。

町民のあり方・目指す姿



【ふるさと科推進プロジェクト】

各学園と大槌高校が連携を図りながら探究的な学びを充実させ、町民のめざす姿「自立」「協働」「創造」にかかわる資質・能力を育みます。

【小中高接続事業（互見授業）】

各学園と大槌高校で互いに授業を見合って、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図ります。（今年度より実施）



大槌高校復興研究会による紙芝居（吉里吉里学園小学部）



大槌高校との交流学习（吉里吉里学園中学部）

※「大槌町スタートプログラム」とは？

「自立」「協働」「創造」につながる「生活する力」「関わる力」「学ぶ力」の具体的な項目（つきたい力）について、町内6つの園と学園が共同で策定したものです。

「生活する力」

- ①1日の生活
- ②身の回りの始末
- ③食事・排せつ
- ④防災・安全

「関わる力」

- ⑤挨拶・返事
- ⑥伝え合い
- ⑦関わり合い

「学ぶ力」

- ⑧言葉や数など
- ⑨自然・生命
- ⑩表現
- ⑪運動

大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民のみなさまにお伝えします！



大槌高校ホームページでも行事の様子を発信しています！

祝 51名が大槌高校を卒業しました！

3月1日に卒業証書授与式が行われ、51名の生徒が卒業しました。昨年度生徒会長を務めた土沢葵さんが答辞を述べ、「コロナによる不安が多い1年だったが、お互いにアイデアを出し合い工夫して学校行事を成功させることができた。」と高校生活を振り返りました。また、現生徒会長の菊地宇宙さんは、「先輩方と過ごした時間はどれも笑顔に溢れていた。先輩方が作ってきた歴史を引き継いでいきたい。」と送辞を述べました。



式典終了後は、各ホームルームで担任から生徒一人ひとりに卒業証書が手渡されました。



卒業生の進路状況は、広報内封入チラシ「大槌高校魅力化の2年目」に掲載しています。ぜひご覧ください！

震災と復興を考える集い



3月3日（水）に、校内で「震災と復興を考える集い」を実施しました。復興研究会による紙芝居の朗読や、沿岸広域振興局による大槌川小鏡川水門の役割についての講演が行われました。また、震災での支援をきっかけに交流が続いている大阪府立桜塚高等学校との「さくら協定」についても紹介され、桜塚高校の生徒からのビデオメッセージを全校生徒で鑑賞しました。

転出される先生方のお知らせ

平成30年度から大槌高校校長を務めてこられた瀬戸和彦校長をはじめ、7名の先生方が転出されますので、お知らせいたします。



校長 瀬戸 和彦

この度の定期人事異動などで7人が転出することとなりました。大槌町の皆さんには、本校の教育活動および本校魅力化に対しまして多大なるご支援・ご協力を賜りましたことに転出者代表として御礼申し上げます。

さて、本校は昨年度創立百周年を迎え、次の百年に向けて新たな歩みを始めています。全国から生徒を募集する「はま留学」や東京大学大気海洋研究所と協働して海洋生物の生態調査を研究する「はま研究会」の設立など、本校は地域と協働して新たな学校づくりに挑戦しています。これからも地域の方々から愛される学校を目指しますのでご支援のほどよろしくお願いいたします。

転任される先生方： 教諭 渡邊 友子（商業） 教諭 小林 広和（商業） 講師 山田 皓生（保健体育）
講師 菊池 穂佳（英語） 講師 岩間 志織（国語） 魅力化推進員 起塚 拓志